

令和8年第2回さくら市議会定例会一般質問順番

令和8年6月5日（金）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	大河原千晶 議員
2番	若見 孝信 議員
3番	永井 孝叔 議員
4番	小堀 勇人 議員

令和8年6月8日（月）午前10時～ 2人

質問順番	質問者名
1番	加藤 朋子 議員
2番	石岡 祐二 議員

1. RS ウイルスワクチン定期接種化に伴うリスクとベネフィットの説明責任を問う

2026年4月より妊婦を対象としたRS ウイルスワクチンが定期接種となった。接種率向上が期待される一方、早産リスクを含む副反応については現在も安全性モニタリングが継続中であり、妊婦が自らの判断で接種を選択できるよう、ベネフィットとリスクの両面を伝えるバランスのとれた情報提供が不可欠である。市における現在の周知・情報提供の内容と体制、および産婦人科等との連携状況について問う。

答弁を求める者 市長

2. 市民活動を支える拠点、その役割と体制は

市民活動支援センターは市直営・会計年度任用職員による運営であるが、現状はレンタルスペース管理が中心となっており、センターが本来担うべきボランティアコーディネーターとしての中間支援機能が十分に果たされていない。また、センターが担うべき中間支援の役割・方針が市として明確に定められておらず、担当職員が独力で対応せざるを得ない体制となっている。市として中間支援の役割をどう位置づけ、継続的・組織的に機能させていく考えがあるか問う。

答弁を求める者 市長

1. 道の駅きつれがわの持続可能な運営と将来の構想について

道の駅きつれがわが、リニューアルしてから10年が経過した。本市の観光拠点である道の駅きつれがわは、本館火災やエネルギー価格の高騰という困難を乗り越え、次なるステージへの転換期を迎えている。駐車場用地として取得した西側の活用、休止中のクアハウスの再定義、そして栃木県によるトイレの改修後の相乗効果と源泉の維持管理について、一体的な流れの中でさくら市の見解を伺う。

- ① 道の駅西側土地の利用状況と整備の進捗状況について。
- ② クアハウスの現状分析と今後の施策方針について。
- ③ トイレの改修の波及効果と源泉の持続可能について。

答弁を求める者 市長

2. 道路・公園における樹木の管理について

近年、異常気象の影響による強風や集中豪雨が頻発し、樹木や倒木、枝折れによる事故が各地で発生している。本市でも過去には、倒木が道をふさぐ事故が発生しており、安全対策の強化は喫緊の課題である。現在の本市の樹木の管理体制について見解を問う。

- ① 道路や公園に植えてある樹木の管理はどのような体制で行われているのか。また、定期的な点検や剪定の実施状況について、具体的な数字を交えて示しを問う。
- ② 大きく成長した樹木や老木に対する安全対策は、どのように行われているか。また、近年、強風や大雨の影響で倒木が発生する事例も増えている中で、どのようにリスクを最小限に抑える努力をしているか問う。

答弁を求める者 市長

3. 2027年全国さくらシンポジウム in さくらの開催について

全国さくらシンポジウムが、来年4月に本市で開催される。このシンポジウムは、サクラの名所を有する自治体間の交流を通じて、観光振興の機運を高めようと「日本花の会」が1982年から開催しているものである。本年、開催した千葉県八千代市では、サクラの専門家や愛好家が集うシンポジウムが開催されるなど新川千本桜の魅力などを発信された。また、全国からサクラを愛好する専門家や一般市民ら約450人が参加をした。そこで来年、栃木県での開催が初めて本市で行われるにあたり、現在の進捗状況とシンポジウムの具体的なプログラムを問う。

答弁を求める者 市長

1. 観光の振興について

本市は、桜の名所や城下町・宿場町の風情、そして日本三大美肌の湯の一つに数えられる喜連川温泉などが大きな魅力であり、観光振興は、「ちょうどいいさくら市」をコンセプトに、歴史、自然、温泉を活かした取組が進められてきた。

特に平成29年4月にリニューアルオープンした「道の駅きつれがわ」は、「大正ロマン・大正モダン」をテーマとした施設で、新鮮な農産物や特産品の直売、地元の人気店が入るフードコートのほか、野外でのバーベキューやキャンプが楽しめる人気のスポットとなっている。

さらに、足湯や源泉かけ流しの露天風呂などの温泉施設も充実していることから、年間利用者が100万人を突破するとともに、市長の卓越した経営手腕により売上も順調に伸び、本市を代表する観光拠点に成長していると聞く。

一方、土日祝日は来館者が遠方より多く訪れ、慢性的な駐車場不足の状態にあるほか、オートバイの専用駐車スペースがなく、新館直売所やフードコートも狭隘で、大幅に増えた来館者数に十分対応できていないなどの課題も山積している。

そこで、本市最大の観光施設として大きく成長した「道の駅きつれがわ」の諸課題にどう対処するのか、とりわけ駐車場の増設は喫緊の課題であり、早急に新たな駐車場を整備し慢性的な駐車場不足の解消を図るべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

3. 文化財の保存・活用及び子育て環境の整備について

文化財保護法に基づき、地域の文化財の保存や活用法を盛り込んだ計画を下野市、大田原市、那須塩原市、小山市、宇都宮市、上三川町の6市町が作り、国の認定を受けている。

文化財の散逸などが課題となる中、認定されると修繕や観光活用の目的で補助の優遇があると聞く。

県内では、栃木市、鹿沼市、矢板市も計画を策定し認定を目指すとしているが、本市では計画策定の考えがあるのか伺う。

また、地球温暖化対策(猛暑・異常気象)として、屋内・全天候型のプレイルーム(室内遊び場)を建設・整備している自治体は全国的に増えている。本市においても、子育て世帯を中心にこうした室内遊び場の整備を求める声が多く聞かれる。

そこで、屋内・全天候型のプレイルームの整備について、どう考えているのか伺う。

答弁を求める者 市長・教育長

小 堀 勇 人 議 員

1. 氏家・喜連川体育館にエアコンの設置を

有利な交付金や起債を活用し早期の実現を。

答弁を求める者 市長

2. 喜連川市街地の再整備について

桜並木～連城橋～市街地～お丸山、道の駅を含め国の補助事業（ウォークアブル事業など）を活用し、喜連川市街地の再整備を図る考えについて問う。

答弁を求める者 市長

3. 氏家駅東口の再整備の見通しは

3月議会で基本計画が示されたが、その具体的な見通しを問う。

答弁を求める者 市長

1. エネルギー施策の展望は

昨今の不安定なエネルギー事情を鑑み、本市も持続可能なエネルギー戦略を構築、推進していく必要があると考えるが、以下の点について市長の考えを問う。

1. エネルギー高騰の現状と対策は。
2. 再生可能エネルギー及び地産地消エネルギー導入の現状は。
3. 省エネ、脱炭素推進状況と今後は。
4. エネルギーレジリエンス（防災）は。

答弁を求める者 市長

2. 公共施設使用料について

1. 物価高騰の影響は。
2. 使用料減免の考え方と対象者は。
3. 公民館をコミュニティセンターに移行する考えは。

答弁を求める者 市長・教育長

1. 魅力ある学校づくりと持続可能な学校経営について

- ① 現在の学校環境を維持していくため、それぞれの学区の見直しを議論すべきかと思うが。
- ② 特色のある学校づくりを進めるために、小規模特認校に対する考え方は。
- ③ 各学校の特に中学校制服、体育着の更新。
- ④ 暑さ対策について。
- ⑤ 氏家小学校長寿命化改良工事について。

答弁を求める者 市長・教育長

2. こども医療費 20 歳までの無償化について

- ① こども医療費無償化の現状。
- ② 対象年齢の引き上げの必要性は。
- ③ 財政への影響は。
- ④ 実施のスケジュールは。

答弁を求める者 市長

